

# ノヤマ通信

vol.3 (2022.文月)



## 森のようちえんヒュッテ

【6月におこなった活動：2日山田薬師、6日桂川溪谷、9日山の基地、16日たこやき島、20日山の基地、23日愛宕山公園、30日宇和運動公園】

### ●活動を見つめるコラム

#### 「なぜ私たちはぶらぶらと歩くのか？」

森のようちえんでは、お散歩をよくします（というか、お散歩が活動の柱です）。私たちの場合は、運動（体力づくり）のため、というよりも、子どもたちが個々の興味にあったものを見つけるため、という意味合いを重視しています。

動き回る小さな虫に興味を持つ子もいれば、動かない花を摘むことに楽しさを感じる子もいます。生きものではなく、石ころや水たまりでずっと遊ぶ子もいます。「心を動かされるものにいつどこで出会えるか」はわからないので、コースもペースも決めず、ぶらぶら歩きます。大人が行きたいと思っていた目的地までたどり着けないこともあるし、お散歩をしている途中に集団がバラけてしまうこともあります。それらはある程度仕方のないことだと思っています。大切なのは、一人ひとりが心動かされるものに出会い、しっかり遊ぶことだと考えているからです。

このような考え方で運営していると、一緒に活動をしていても、お散歩で経験して得るものは、一人ひとりで違ってくるということになります。でもそれで良いと思っています。同じ体験をすれば、全員が同じように学べるというのは、思い込みです。学校教育でも学習指導要領が変わり、「個別最適な学び」の実現に向けて、教育スタイルの転換が始まっています。



晴れの日も雨の日も歩きます。



▲6/16 森のようちえん@たこやき島（明浜町狩浜）

## 山の基地

【6月におこなった活動：12日、26日開放日】

●12日の開放日、二組のご家族が初めて山の基地に遊びに来てくれました。いずれも市外からの方で、川遊びなどを楽しまれていました。一組は、西予市立図書館に掲示していたこのノヤマ通信を見て、とのこと。作った甲斐がありました！



●今年2月のイベントでシイタケの菌打ちをした原木に変化がありました！木の断面に菌糸紋と呼ばれる菌の広がりを見えていました。うまく定着してくれたようで一安心です。



## その他の活動

●6/4市主催イベント「山で遊ぼう」の講師対応

山に登る道中での自然観察ポイントを紹介した「たんけんマップ」の作製や、近くで採集した生き物を観察したり、図鑑を読んだりするスペースの設営をしました。





## ●6/5南予移住体験ツアーの対応

県などが立ち上げた「南予子育て移住促進協議会」が主催。地方移住に関心のある都市部に住む方を対象に、森のようちえんの体験会を行いました。雨がちらつく中、歴博の裏庭をお散歩しました。

## ●6/18『だいちのめ』公開編集会議

西予市から委託を受けて制作している、四国西予ジオパークのフリーマガジン『だいちのめ』について市民の方から感想やご意見をお聞きする会を四国西予ジオミュージアムで開催しました。



## ●6/30四国西予ジオパーク推進協議会 出席

代表理事がこの協議会の「保全部会」の部会長に選ばれました。市役所や部会員の方々と一緒に、ジオパークの地形・地質、自然、文化などを次の世代にどう残していくか、という計画を取りまとめています。

## いきもの情報

今回は、6/16に明浜のたこやき島（島の元）で出会った海の不思議な生物たちの写真です。



### シロウミウシ

ウミウシは、貝がらを持たなくなった巻貝の仲間です。青色のアオウミウシもいました。



### タツナミガイ

15cmくらいの石みたいな動物。アメフラシの仲間です。攻撃されると身をを守るため紫色の液を出します。



### ニッポンウミシダ

ウニやヒトデと同じ棘皮動物。ウミシダの仲間は恐竜がいた時代から海で暮らしており、「生きた化石」とも呼ばれます。



### ケブカガニ

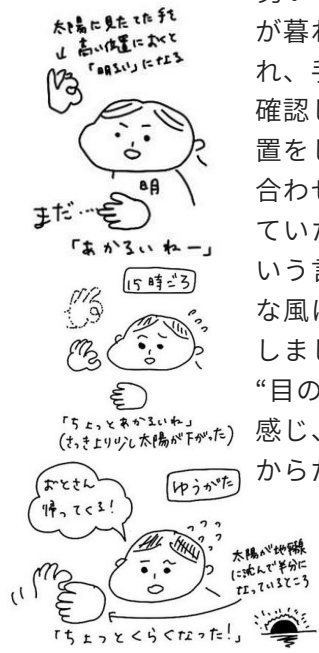
名前の通り、毛深いカニ。モフモフした姿形とつぶらな瞳がお母さんたちに人気でした。

## 📖 おすすめの本

齋藤陽道さんの育児まんが日記、『せかいのことば』を読んでいます。陽道さんは、写真家です。パートナーのまなみさん（ろう者）と一緒に2人のお子さんを育てています。彼らは聞こえるそうです。

私はこれまで、言葉が先にあってそれに対応した手話があると思っていました。でもこの本を読んで、手話はとても表現が豊かで、むしろ言葉の方が足りてないんじゃないかと思うようになりました。

朝早く出かけて行った陽道さんの帰りを待つ長男いつき君（当時3歳）は、日が暮れたら帰ってくるよと言われ、手話でまなみさんに時間を確認します。この時、太陽の位置をしっかりと把握して、状況に合わせて手の位置と表情を変えていたそうです。朝昼夕方夜という言葉が知らなくても、こんな風に伝えられるんだ！と感動しました。



“目の前に広がるいろんなものを感じ、見つめ、まねて、自分のからだで表す。”子どもたちが発するそんな「ことば」をちゃんと受け取っていきたいと思いました〈ち〉

## 👉 よもやま話

友人から大きな机をもらったことをきっかけに、ノヤマカンパニーの事務所（兼自宅）の庭に、屋根をこしらえました。今後は来客対応などもここで行おうと思います。森のようちえんに来てくれているYちゃんちの製材所から購入した地元産材を使っています😊。



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

noyama.company@gmail.com